

セメンテックス QQ-FM 施工要領

1. 下地処理

施工面の不純物・脆弱部を除去すると共に表面の塵埃、レイトンス等をサンダー及び高圧水洗浄で除去して下さい。

2. 材料の混練り

・1 セット配合内訳

品名	構成材料	入れ目	荷姿	標準使用量	施工可能面積
セメンテックス QQ-FM	A材(混和液)	(3.4kg×5袋)/箱	67kg/セット	48kg/m ² (40mm厚)	1.3m ² /セット (40mm厚)
	B材(パウダー)	10kg×5袋			

- ・はじめに混練用容器(ペール缶など)を用意し、A材(混和液)1袋の95%程度を投入して下さい。
- ・次にB材(パウダー)を少しずつ加えながら、ダマができないようにハンドミキサーで丁寧に練り上げて下さい。
- ・残りのA材(混和液)で作業目的に応じた粘度に調整して、ご使用下さい。

※A材(混和液)とB材(パウダー)の投入順序を逆にするとダマになり易いばかりでなく、瞬結して混練不能となり、使用できなくなる場合があります。
※練り始めに、A材(混和液)が足りないと感じて、2~3分混練りすることで柔らかくなります。A材(混和液)の入れ過ぎにならないように注意して下さい。

・可使時間(20~30分)を過ぎると急激にこわばり始めます。可使時間内に使用できる量を混練して下さい。

3. 塗り付け作業

- ①下地施工面を適度に水湿して、湿潤状態にしてから塗り付けを行って下さい。吸水の激しい下地には、ファインコートPをご使用ください。また、ハツリ部等の断面補修の場合、カチオンベースQQ-0をご使用いただくと、次作業が容易になります。
- ②下地に良くなじむように、セメンテックスQQ-FMを十分にこすり付けて下さい。
- ③1回あたりの塗り厚は、側壁面で30mm、天井面で15mm程度を限度として下さい。
- ④施工後は、直射日光などによる急激な乾燥を避けるよう注意して下さい。また、厳寒期には凍結対策として防寒養生を行って下さい。

4. 使用上の注意事項

- ・超速硬セメントを使用していますので、入手後はできるだけ早くご使用下さい。
- ・保管する際は、吸湿・風化を避けるため、ビニールシートなどで覆い、湿気を遮断して下さい。
- ・乾くと白い斑点が発生することがありますが、モルタルの性能・品質には何ら問題ありません。
- ・普通ポルトランドセメントなど、他のセメントやモルタルとは絶対に混ぜないで下さい。

※本商品の安全取り扱い上の詳しい注意事項が必要なときは、安全データシート(SDS)をご請求下さい。

※製品改良のため予告なしに仕様等を変更する場合があります。予めご了承下さい。